



泣き声で一日が始まっていた新入園児さん、ちょっとときどき、おおはりきりの進級の皆さん。様々な思いで30年度がスタートしました。かえで保育園では、子どもたちの一人ひとりの思いをどのように進めていくかを大切に環境を提供したり、子どもの中で起こった出来事や発想に向き合いながら、保育を組み立てています。子どもたちは保護者の方々の離れている時間に「自分」をかえで保育園という環境の中で表現されています。めばえのお子様も初めて保護者以外の大人の中で過す不安度はとても大きいのですが、保育者という環境の中で様々な声・表情・抱かれ方などが徐々に心地のよいものになり、人生の中で初めて他人にゆだねることを覚えていきます。この変化は驚くほど脳が活性化し「記憶」することから始まります。この記憶を大切にこれからも様々なことをともに進めていき「人とのかわり心地のよいもの」「この場所は安心できる場所」になっていきます。

幼児期では、お子様一人ひとりの性格は保護者の方の遺伝が大きいですが、環境によって「人見知りしない」「人との関わりが大好き」「何でも挑戦しようとする」「さまざまなことを考えてみる」など、その子どもらしさが表出してくるのが4歳～6歳です。かえで保育園でいえば、ひかりからだいちの時期で性格やものの考え方の基礎が出来上がります。

今年のひかりぐみは今までしてもらってから自分で試してみるにかわってきました。

保育園から「鞆や荷物を自分で管理していきます」とか「大人が口を出さず、自分から説明する機会を持ってください」などをお願いし、発信しますがこの当たり前の繰り返しが大切となります。

だいちは個人から仲間の大切さ・共に進めていくことの心地よさを感じていける時期です。

ひかりの時期には自分！！を一番優先していた気持ちが変わっていきます。それには個人差がありますが、「仲間が大切」なんだという感覚はこれからの毎日の生活の中で思い切り喧嘩をしたり、自分の思いが伝わらない悔しさだったりたくさん経験し培っていきます。時にはしっかりと大人が導くことが必要となる出来事もあると思いますが、子ども同士で気持ちを伝え合ったり、考える時間を持ったりして「気づき」を育てていきます。

送迎の際、84名の子どもたちの一日にびっくりすることにあたり、??の場面に出会うかと思いますが出来るだけ保育者からのメッセージを届けられるようにお知らせしていきますので、温かく見守っていただきたいと思います。年明けの頃にはどのクラスも「成長したな～」と感じていただけたらと願っています。

さて、30年度の保育のテーマは「つながる」ですすすめていきます。

どの子も保護者も職員もそして地域の方にも「かえで保育園」とつながっていることを意識しながら生活できるような場所作りを提案します。そして毎日の育ちが小学校に向かって巣立っていく基礎であることを考えながら保育内容を吟味し計画します。

5月26日の保護者会でも今年の保育の始まりをお知らせいたしますが、幼児ではかえでのお庭だけでなく「自然」をテーマに「空」「海」「山」グループにわけて活動していきます。

それぞれが思うこと、やってみたいことを進めながら自然の事象にも興味関心が深まっていけることを保育目標としています。

今年はめばえからだいちまで保育園で出会う様々なやり取りを写真とともに個別に記録していきますので楽しみにしてください。

また、磯部錦司先生をお招きして保護者の方々と共にアート・パート2で楽しもうと計画しました。ゆっくりとお子様との時間を過ごしてくださいね。

今年の新たな楽しみは6月30日（土）～7月1日（日）に卒園生とのお泊り同園会を計画しました。この取り組みは、かえでカフェ・ダンディタイムの保護者の方々にお手伝いをいただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。詳しくはお便りでお知らせします。



レンギョウに付いていた卵から孵ったカマキリができました

にこにこメッセージ

4月は、温かく柔らかな日差しの中で新しい年を迎えました。少しずつ慣らし保育が進み、園の生活にも楽しさが見え始めてきました。特にめばえぐみは一人ひとりの生活リズムや月齢による成長の違いが見られますが、私たちは園の生活に子どもを合わせるのではなく、成長を大切に見守りながら子どもにとって健やかに育つための時間を保護者の方と共有していくことが、共育てだと思っています。また、保育者だけではなく、在園児それぞれの子どもたちも協力してくれています。ひかりぐみやだいちぐみになると新入園児の子はどの子だろうと気になり、声をかけに行ってくれています。名前を覚えるためロッカーなどを見に行ってくれたり、めばえぐみから入園し1年を園で過ごしたふたばさんの子も泣いている子に、おもちゃを差し伸べてくれる姿も見られました。時には「〇〇ちゃんと〇〇ちゃん似てるー」と大発見することもありたり、泣いている子を見ては「お母さんもうすぐ来るからねー」と声をかけてくれたりすることもあります。このような時間を重ねていくことで、心地の良い場所へと変わっていくことと思います。お迎えのとき「今日の楽しかったこと」聞いてみて下さい。まだまだ話せなくても感じ取れることがたくさんあると思います。

今年も保護者の方のサポーターとして、主任保育士として、大先輩ママとしても子育てを応援しながら進んで生きたいと思っています。

主任保育士 藤森 寿美

せんせいからのおはなしコーナー

少しずつお腹が大きくなってきて、胎動も感じるようになりました。

赤ちゃんが生まれてくるまであと何日か、今どんな成長をしているのか教えてくれるアプリをダウンロードし、毎日目を通すことが日課になってきました。「聴覚が発達してお腹の中でもいろんな音を聞くことができるようになりましたよ」「臍の緒で遊ぶこともあるんですよ」など日々成長する様子を読んではこんなに小さい赤ちゃんでも生まれてから必要なことができるようになっていたり、遊んでいたたりすることの成長の早さに驚く日々です。目には見えませんがすごいなぁと感心しました。

「ほんとに赤ちゃんいるん？」と疑っていた子どもたちも、大きくなるお腹を見て嘘じゃないと確信したのか、ふたばのお部屋にきてお腹をさすって優しく声をかけてくれるようになりました。今からみんなに優しくしてもえることが嬉しいなと感じます。私も知らないことがまだまだ多いので、また保護者の方からもいろいろ教えて頂けたら嬉しいです。

福井 真裕子

めばえ・ふたば・つぼみからのお知らせ

- 健康調査票が変わります。
記入欄が変更になりましたので確認の上、必ず記入するようお願い致します。
- 持ち物の記名をお願いします。(肌着や靴・靴下などにも忘れず記名してください)
- 暑くなってきましたので沐浴やシャワーをする日もあります。
体ふきタオルの用意をお願いします。

いぶき・ひかり・だいちからのお知らせ

- 保育園には9時半までの登園をお願いします。
- 暑くなってきましたのでシャワーをする日もあります。体ふきタオルと濡れたものを入れる袋の用意をお願いします。

ねらい：「安心して過ごす・色んなものにさわってみる」

う た：「ことりのうた・ジージーバー・ももやももや」

いよいよ保育園生活が始まりましたね。お母さんも初めての生活になり、お子様と一緒にドキドキのことと思います。お部屋に入ってくるめばえさんもドキドキしながらお母さんと別れたあと、こんな風に保育園で過ごしています。



“ね、せんせい”

先生に抱っこされながら、目の前にはモビールがゆらゆら…。最初はじい〜っと見つめ、勇気を出してそうっと手を伸ばします。つんつんと指先で触ったり、きゅっと掴んだりしながら少しずつ気持ちも落ち着いてきているようでした。「ゆらゆらしてるね」と先生の声が聞こえると、先生の目を見つめ、またモビールに手を伸ばします。言葉では表せませんが、「さわりたいな」「ね、せんせい」という声が聞こえてきそうですね。

“これ、なあに？”



また、おもちゃとの出会いもあります。初めて見る目の前のおもちゃ。触ってみると…音が鳴った！動いた！柔らかい！などたくさんの発見が生まれていきます。思わず表情もピクッと動き、目が大きく開いたかと思えば、すぐにお口はにこっと笑っていました。そして「もういっかい、さわりたいな…」とまたおもちゃに触れ、それぞれの面白さを感じているようでした。目の前にあるものへの興味がどんどんと大きくなってきて、自らおもちゃを見つけに行くことも増えてきました。

“きもちいいな”



バギーに乗って園庭をお散歩することもあります。お部屋とは違った景色、音、温度を感じながら、お外を楽しんでいます。遊びに来てくれたお兄さん、お姉さんに名前を呼ばれ、少しずつ出会うお友達も広がっていきます。バギーに乗ってお散歩していると、いつの間にか眠ってしまうこともあります。そのくらい気持ちがいいのかもしれませんね。

“担任の思い”

生まれてきてから始めて尽くしのめばえさん。これからは保育園でも初めてのことが増えていきますね。少しずつ色んな顔も見れるようになってきて、嬉しい顔、楽しい顔、驚いた顔などその中からたくさんの感情を出してくれています。何を見ているのかな、何を聞いているのかなとめばえさんの顔を見ながら、こう思っているのかなと考えることで少しでも多くめばえさんのことを知れたようでとても嬉しいです。昨日はこんなことをしていたけれど、今日はあんなことが出来るようになっていく！と発見するのもとても嬉しくて、そばにいて、もっと成長を感じることが出来ればと思っています。これからも一緒に成長を喜んでいきたいです。

ねらい：「外で体をたくさん動かしてあそぼう」

う た：「さんぽ」

手遊び：「げんこつやまのたぬきさん」

わらべうた：「いちり」「オスワリヤス」「イスンボウシ」

4月はお天気の良い日が続き、園庭でたくさんあそべました。幼児クラスの子どもの関わりが見られたり、あそびを見ながら真似してみたりする姿もありました。泥団子づくりでは、同じように泥の土を手のひらにのせ両手を使い行っていました。見た目はまだハンバーグのようですが、いつか丸い団子を作れることを楽しみにして一緒に遊んでいこうと思います。



ご飯おいしいね

食事の環境を見直し、めばえぐみの部屋で子ども達と一緒にの場所で食べています。水道で手洗いした後、椅子に座りエプロンをつけ、同じテーブルで食べる友だちがそろそろと「いただきます」と行っています。先にエプロンをつけて同じテーブルの友だちが来ていないと、「こないね」「きたきた」との言葉も聞こえるようになり、一緒に食べる友だちも少しずつ分かって意識も出てきているように感じます。最後のデザートの際は保育者が「今日のデザート何かな？」と言うとデザート置いてある方を見て「みかん」と子ども達から発し、おいしそうに食べています。柑橘系は、種類によって皮の型さや味が違うため、時にすっぱい顔をする時もありますが、保育者が「おいしかった？」と尋ねると「うん」と言って満足そうに食べています。これからも楽しい食事の時間となるようにしていきたいです。



園庭あそび

朝の牛乳を飲んだ後に園庭へでる流れをしばらくおこなっていると、保育者の声掛けなく朝のおやつ後、自分で帽子を見つけかぶろうとしています。裸足にも慣れ、今ではテラスから走って園庭に出ていく姿も見られるようになりました。フープを自分で取って遊んだり、すべり台のある階段へ行ったらは2階のテラスであそんだり、友達が行ったからといってみようとして行動範囲が広まりました。



水道やビオトープへ行き、水をみたり触ってみたりする様子も見られるようになりました。水道の蛇口をひねり自分では出すことが出来なくてももしっかり考え、つぼみや幼児クラスの子どもの水を出し始めると「いまだ」と水を触りに行っていました。自分でじょうろを取りに行ったり、カップを見つけてきたり、自分で探しながらあそび、しゃぼん玉が始まると、傍へ行きじっと見たり追いかけたり、幼児の子どもが近くに来て大きいしゃぼん玉を見せてくれたりたくさんのお遊びを知る事が出来ました。これからも異年齢での関わりも持ちながら楽しい園庭あそびとなってほしいです。



“担任の思い”

一人で遊ぶ事がまだ多い年齢ではありますが、友だち意識も少しずつ出てくることと思います。自分のおもちゃ、友達のおもちゃの認識はまだできないので、トラブルになることもあると思います。その時に一人ひとりの子どもの状況やあそびを把握しながら中に入り代弁して行っています。子ども達は言葉にすることが難しい分、保育者が代わりに伝えていき、少しずつ気づいていけるように保育し、子ども達の成長を見守っていこうと思います

西口智子・福井真裕子・高田奈沙

ねらい：「保育園生活に慣れ、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ」

う た：「ことりのうた・うちのうらの・なべなべ」

皆が楽しみにしていたつぼみ組さんがスタートして一か月が経ちました。新しいお友達を迎え、ふたばさんの時とはちょっと違った表情が見られるようになりました。朝登園してくるとにこっと笑い「おはようございます」と元気よくご挨拶してくれます。園庭で遊ぶことが大好きで夕方元氣いっぱい走って園庭まで降りて行っています。



～これどこかな？～

つぼみさんになり難しいことにもどんどん挑戦していきたい子どもたち。お部屋にピースの多いパズルを増やしました。すると、じっくりと考えこんで「これどこだろう」と集中してパズルを組み合わせていっています。どうしても分からないところは先生に聞いてヒントを貰うと出来ます。はじめは一人で黙々としていましたが、すこしずつお友達と一緒にする姿も見られるようになりました。先生に聞いていたところもお友だちに聞いて一緒に考えながらやっています。



～体操～

ピカピカの体操服を着て張り切っている子どもたち。「体操の先生誰だった？」と聞くと「ふるいせんせい」とすぐに名前も覚え毎週の体操を楽しみにしています。今はまだ簡単なサーキット遊びですが跳び箱の高さを高くしてジャンプをしたり鉄棒ではぶら下がったり足抜き周りに挑戦したりしています。一人一人やってみたい事、挑戦したい事に取り組んでいます。



～みーつけた～

お兄さんたちがダンゴ虫を見せてくれたのをきっかけにつぼみさんもダンゴ虫に夢中です。「どこにいるかなあ、だんごむしさんおいで～」と言いながら必死にダンゴ虫探しをしています。なかなか見つけれられない時にはお兄さんに聞いて探してもらっています。「いっぱいいたよ」とカップやスコップにダンゴ虫を入れて大事そうに持っています。

これからもっと夏が近づいてきたらたくさんの虫と触れ合ってほしいと思います。

“担任の思い”

お友だちとの関わりが増えてきた今、「友達といっしょにあそびたい」という気持ちと「ひとりであそびたい」という気持ちと「先生といたい」という気持ちがあります。友だちとの関わりが多くなってきた分トラブルも増えますが一人ひとりの気持ちに保育者が寄り添い友だちとの関わりを大切に見守っていきたくと思っています。まだまだ自分の気持ちをうまく伝えられなかったり相手の気持ちを理解することが出来なかったり難しい面は多々ありますが子どもたちの気持ちを大切にしていき、子どもたちのやってみたいこと、興味のあることを引出し、様々な体験が出来るように進めていきたいと思っています。

ねらい：「自分のしてみたいことをやってみる」

う た：「こいのぼり」「カメのえんそく」

幼児クラスの保育室にも少しずつ慣れてきて、折り紙や色塗りなど今までは無かったものに夢中になったり、ちょっと難しいゲームやおもちゃも、お兄さんとお姉さんに教えてもらいながら挑戦する姿も見られます。また、自分のロッカーやタオルなどの場所を覚えて、自分の力で着替えたり降園の準備をしたり、少し誇らしそうないぶきさんです。

5月では、園外に出かけたり、楽しいことをたくさん計画し、一緒に楽しみたいと思います。

“お友達といっしょに”



4月から新しいお友達を一人迎え、16人になってスタートしたいぶき組。毎朝にここに広場で歌を歌うことが楽しいようで、保育室に戻ってからも、「今日はあれ歌いたいな！」「これも！」とリクエストがたくさんあがります。

そのなかでもみんなが大好きなかえで保育園の園歌では、1番の「おててと おててを つないだら」のフレーズを歌うと必ずみんなで輪になって手を繋ぎだします。新しく入ったお友達にも、「こっちにおいでよ！」「一緒に手、繋ごう！」と声を掛けられ嬉

しそうに輪の中にはいていました。最後のピアノの音が聞こえると、手を繋いだままお辞儀する姿が、とてもかわいらしいです。

これからも16人みんなで楽しく過ごしていきたいと思います。

“えんどう豆の皮むき”



先日みんなでえんどう豆の皮むきに挑戦しました。皮が固くて最初はなかなかむけないでいましたが、コツを掴むと、上手にむくことができていました。中から豆が顔を出す瞬間が、なんともうれいようで、「見て見て！こーんなにいたよ！」「あかちゃん豆もいるよ！」と、それぞれ嬉しそうに見せてくれていました。

頑張ってたくさんのえんどう豆を集めて「すごいね！」と大興奮でした。

昼食の時間になると、豆ごはんに変身してでてきたえんどう豆。普段は少し苦手なお友達も、「おいしいね」と嬉しそうにたくさんたべていました。

“担任の思い”

4月に入ってまた一つ大きくなったいぶき組。できることがたくさん増えてとても嬉しいようです。お兄さんやお姉さんが遊ぶ姿をよく観察していて、自分も同じようにできるかチャレンジしています。去年から子どもたちのそばで様子を見ていて、今までよりも、関わる人が増えて、遊びたいものが増えて、ワクワクドキドキしているように感じます。これから、もっと「やってみたい！」

という気持ちが出てくると思うので、一緒にチャレンジしながら、困った時や不安な時はそばで受け止められるような存在でありたいです。

林 奈津美

～ひかりぐみ～

ねらい：「好きな遊びを見つけてお友だちと楽しむ」

う た：「しゃぼんだま」「にじのむこうに」

ひか組になり、だいち組が遊ぶコマ回しや逆上がりに憧れを持ったり、めばえ組や小さなお友だちと園庭にでて遊びながらゆったり過ごしています。ひかりさんになってこれから楽しいこと、悲しいこと、嬉しいこと、悔しいこともみんなで経験することができるよう子ども同士や保育者との関係性を築いていきたいです。

“背くらべ・〇〇順”

4月後半から園庭にこいのぼりが泳ぎ始めました。おとうさん、子どものこいのぼりを部屋の中から、園庭ではこいのぼりの真下で見上げたり、風を感じながら『こいのぼり』の歌を歌う子もいました。途中から雨が降ってくる中「こいのぼりもいれなきゃね」と部屋の中に入れると「大きいな～」「どれが一番大きい？」と子どもたちでこいのぼりを並べはじめました。こいのぼりの隣に寝転びながら「どっちが大きい？」と背比べが始まりました。

近くにいるお友だちと背中を合わせてまわりの子に「どっちが高い？」「〇〇ちゃんと〇〇くんは同じかな～？」「じゃあここに入って」と1列に並びながら「階段みたい」と楽しんでいました。その日からクラスで集まると「今日は背比べで並ぶ？」「誕生日の順番は？」と子ども同士で話し合いながら並ぶことが増えています。



“担任の思い”

体操では「先生見といてね」とドキドキしながらも鉄棒での前回りや跳び箱に挑戦する姿が見られます。見てもらうことから自信に繋がったり、挑戦しようとする友だちの姿を見て「頑張れ！できるよ！」と応援する声も聞こえてきます。先生からも友だちからも見守られながら保育園での生活の中で、子どもたちの小さな発見や、感じたこと、やってみたいことを1つ1つ経験する1年にしたいです。時には、自分の気持ちをうまく伝えられなかったり、することもあるかと思いますがその時に子ども同士で話し合いどうしていききたいかを保育者と一緒に考えながら1日1日を大切に過ごしていきたいと思っています。

日笠 加菜

～だいちぐみ～

ねらい：「身の回りのことを自身で行う」「挑戦してみたいことを見つける」

う た：「かぜはともだち」「ドロップスのうた」

だいち組になり始めは張り切っていた子も、少し肩の力がふっと抜けて自然体で過ごせているように感じます。やってみたい！頑張りたいけど勇気が出ない…等、子どもたち一人ひとりが心に感じている気持ちを一緒に共有しながら、日々過ごしているところです。いぶきのお手伝いやめばえへの“出張”に喜びを感じている子もいれば、コマ回しや逆上がりなど出来ないことが出来るようになった喜びを感じ、更なる意欲がどんどん湧いている子もいます。だいちでの話し合いのエピソードをお話すると、「え、あのだいちさんが話し合いを…?!」と驚きの声も聞かれましたが、子どもたちは日々成長し自分たちで問題に立ち向かう力も順調に育っています。今回はその中でも気持ちが揺れ動いていた時の出来事をお伝えします。

“ヤモリのげんきくん”

「子どもたちが観察できるかもしれない」と事務所でしばらくお世話をしていたヤモリ、興味を持っていた子もいたので、これから園で飼うのか、逃がすのかだいち組で話し合うことになりました。

「ヤモリにも家族がいるかもしれない」「ヤモリの幼稚園でも心配しているかもしれない」と飼うことに反対意見がありますが、飼いたいという意見も多く、「逃がしちゃったら、みんなが観察したいのに悲しむ」という声もありました。その場では決まらず、まずはヤモリについて何が最も良いのか、調べてみようという話で終わります。

午睡明け、ヤモリの入った容器にAくんがコマの紐をひっかけ、容器が落ちてしまいました。死んでしまったのか弱っているのか分かりませんでした。午前中みんなで悩み考えたこともあり、「ヤモリ死んじゃったかもしれないやん!」とAくんに対して興奮した様子で話す子の姿もありました。

ここから、だいち組全員での話し合いが始まります。Bくんが第一声、「なんでAくん、ヤモリのかご落とししたりしたん」と強い口調ではありましたが、尋ねます。周りの子もそれぞれの感じたことを話しますが、Aくんは「今考えてるねん」と口をつぐんでいました。Bくんは「生き物も命は一つしかないんやから、大切にしなあかんのちゃうん!」「何でAくんはいつも生き物とかいじめたりするん。そんな痛い思いとかさせたらな、自分に返ってくるんやで」と気持ちを込めて伝えていました。その中でCちゃんはどこか集団の会話を客観的に見て、その場を落ち着かせようとしながらも、Aくんに諭すように話をしていました。

20分程経過し、一向に話そうとしないAくんに対して周りの子も苛立ち、子どもたちの集中も切れてくるのではと感じ、声を掛けてみました。「Aくん、考えて話すことじゃなくて、本当にあったことや、その時の気持ちを正直に話したらいいんだと思うよ。それがみんなの知りたいことだと思う。」するとしばらくして「わざとやっちゃった…」とAくんがぼつりと呟きました。

ここからはみんなAくんへの“どうして?”という気持ちから、ヤモリを心配する気持ちに変わります。

ヤモリが活着しているかどうか確かめようと、容器の中を覗いてみますが、ヤモリは動きません。Aくんにそっと触れてもらんと伝え、真剣な表情で手を伸ばし、周りで見ている子も緊張した様子…。そしてAくんが触れた瞬間、ぴくっとヤモリが少し動きました。それと同時にAくんの表情も緩み、保育者と目を見合わせます。「やった!生きてた!」と一人の子が喜び声をあげると、他の子も飛び跳ねながら喜びを共有していました。Aくんは安心したのか「大きい声はヤモリがびっくりするから、みんな静かにして!」と友だちへ声を掛けながらも表情はとても嬉しそうでした。



その後、図鑑で詳しく調べると“冬眠の季節に暖かい環境にいと死んでしまう”“寒くなる前に逃がそう”と書いてあったことで、温かい季節の間、飼おうということになりました。飼うことが決まると反対する子はおらず、ケースの中に土を集めたり、木で隠れ場所を作ったり、水を入れたりと環境を整えることに楽しさを感じているようでした。「だんご虫食べる？小さいのだったら口に入るかな」と保育者に相談しながら、様々な虫を見つけては嬉しそうに見せに来る子もいます。

しばらく観察を続けた後、「名前つける？」という話になり、元気になってほしいという思いを込めて“げんきくん”と名付けられました。そして、Aくんはというと、お迎えに来られたおうちの方に「こっち！きて！」とヤモリの姿を見せたくてたまらないといった様子でした。

“担任の思い”

不思議なもので、初めは飼いたいという子もいれば、かわいそうだから逃がそうよという子もいたのですが、Aくんがケースを落としてしまったことをきっかけに、ヤモリについて考え話し合うことが最後には“みんなで世話をして飼おう”という気持ちに変わっていました。子どもたちの日々の中には、大人も予期せぬことがいくつも起こります。その中で善悪や“正しい・間違っている”で物事を見るのではなく、様々な人と関わりあい多様な想いに触れることで、新しい気持ちが生まれるのだと感じました。まだまだ生き物への好奇心が先行し大切にすることが難しい場面もありますが、感じたままにやってみたい！思いついたら試してみたい！という子どもらしさがあるからこそ、その度に子どもたちの心は育つことが出来るのだと思います。純粹でまっすぐな気持ちが子どもたちの成長に繋がることを忘れずに、日々を共に過ごしていきたいと感じます。

河本 彩奈

保護者の方からのおはなしコーナー

3歳を目の前にして、やりたいと言う気持ちがすごく強くなり、ある日コンセントに掃除機のコードをさそうとしたので、「ダメ!! それは危ないよ。まだ赤ちゃんだからやっていい事はお父さんとお母さんが決めます。」と言うと、「赤ちゃんじゃない!! つぼみさんだから!!」と言われ色々反省で、すぐに謝りました。

こちらの気持ちの余裕がある限り、“やりたい”には上手く付き合ってあげたいと思います。

つぼみ組 ゆきさん

最近動物に夢中の息子ですが、よく私に問題を出してきます。「これなーんだ?」と手で隠して、何の動物か答える問題です。

「ヒントは?」と聞くと、「白いクマ!」と教えてくれ、「白くま」と答えると「すげー、なんでわかったん?」と目をキラキラさせていました。

だいち組 えみこさん

いぶきさんになってもまだまだ甘えん坊で恥ずかしがり屋の息子ですがこの頃は「今日はカレーが食べたい」とか「今度のお休みは〇〇へ行きたい」とか言葉でも自分の意思を話せるようになってきました。今年一年どんな成長を見せてくれるか楽しみです。

いぶき組 ゆみこさん

幼児クラスになって色々なお友達と遊んでいると聞き嬉しく思っています。上のお兄ちゃんお姉ちゃんがしていることを真似していろいろ頑張っているのだなと思います。

いぶき組 まきさん

保育園での出来事について、家では全く話してくれない息子なので、先生からお聞きする園での様子には、いつもよろこびや驚きがあります。

「他のお母さんに対してしっかりした口調で話してました」とか「恥ずかしそうにおめでとうって言ってくれました」とか。私にとっては貴重なお話、いつもありがとうございます。

ひかり組 ことみさん

～お台所から～

新年度がスタートして一年が過ぎようとしています。新しいお友達、お部屋にも慣れご飯もおいしく食べられるようになってきましたね。たくさん遊んでたくさん食べて過してほしいと思っています。

春の旬の野菜には強い香りや苦みを持つものが多いですが、食材に触れる機会を設け、少しでも味わえてもらえたらと思っています。

4月の食育活動

・お米とぎ当番

毎日だいちゃん2人組でお米とぎに来てくれます。まだまだぎこちない手つきですが「ここまで水入れるね」「だいちゃん（今の小学一年生）こうするって言ってたよね！」と協力しながら頑張っています。

・豆ごはんの豆のさや剥き

コツをつかむのが早くあっという間に完成。「中がつるつるしてるね」「枝豆に似てる」と発見したことをたくさん教えてくれました。ご飯のとき「ちょっと苦かったけど…春の味がした！」と言いに来てくれただいちゃんもいて嬉しかったです。

その他にも園で育てているアスパラやスナップエンドウを「せんせーい、今日のお昼ごはんにいれてー」と持ってきてくれます。今後もこのような活動を大切に食べ物に興味を持ってもらえたらと思います。

5月の献立の旬の食材

たけのこ	アスパラガス	春キャベツ	新じゃがいも
若ごぼう	スナップエンドウ	新玉ねぎ	きぬさや
ふき	夏みかん	甘夏	清見オレンジ

5月に予定している食育活動

- ・たけのこご飯のたけのこの皮をむく（いぶき）
- ・みそ汁のたまねぎの皮をむく（ひかり）
- ・サラダキャベツをちぎる（つぼみ）
- ・そら豆をゆがく（だいちゃん）

めばえさんふたばさんも見たり触ったり野菜にどんどん触れていければと思います。



4月のお誕生日ケーキ



ふきと背比べ



スナップエンドウのさや剥き



5月18日幼児は子どもたちで須磨水族園に遠足に行きます。わくわくドキドキで出かけます。

5月26日は保護者会です。今年度の保育の内容や今後の展開をお話しますので繰り合わせご参加ください。その後、磯部先生をお招きし親子で遊ぼうと企画しています。お楽しみに！！

5月31日かえでカフェでリサイクルDAYとしていらなくなった子どものものの交換の日とします。6月2日にも行ないますので後日出すご案内をご覧ください

こんなことしたよ♪

2日には入園式・進級式がありました。新しいお友達を18名迎え新年度がスタートしました。進級式では新しいクラスに胸をドキドキさせながら話を聞いていました。ひとつお兄さん・お姉さんになって喜んでいる様子でした。



20日はつぼみ～だいちクラスのお弁当日でした。幼児クラスは夙川公園へ散歩に出かけ、川辺に泳ぐこいのぼりを見に行きました。残念ながらこいのぼりには出会えませんでした。石の橋渡りに挑戦しました。新しいクラスになっての初めてのお散歩に、みんなときどきわくわくな様子でした。お昼ご飯もペアのお友だちと仲良く、美味しくいただきました。お忙しい中、お弁当のご用意ありがとうございました。



☆お願い☆

- これからますます気温が上がってきます。お子様のロッカーの中の衣服の入れ替えと補充をしてください。
- 尚、幼児クラスはパンツがない場合はお渡ししますが、購入となります。
- 1枚250円(諸費にて請求させていただきます)
- 入退館のカード、玄関の解錠、インターフォンは必ず保護者の方が行って下さい。
- 帽子、靴は週末に持ち帰り必ず洗濯してください
- 諸費は登園時ではなく降園時に事務所にお渡し下さい。



《5月の予定》

- 9日(水) 魚の解体予定(ダンディタイム)
- 11日(金) 絵画
- 17日(木) 子育て支援(すまいる)
- 18日(金) 幼児バス遠足(弁当日)
つぼみ弁当日
- 21日(月) 絵画・月例健診
- 23日(水) ひかり・だいちおでかけ日
- 25日(金) 誕生会
- 26日(土) 保護者会
- 29日(火) だいちおでかけ
- 31日(木) かえでカフェ(リサイクルデイ)

*10・17・24・31日(木) 体操
*おでかけの詳細は後日お知らせします

《6月の予定》

- 2日(土) リサイクルデイ
- 7日(木) だいち懇談(17:30～)
- 7・8日 尿検査(幼児)
(22日尿追加または再検査)
- 9日(土) ダンディ・タイム
- 12日(火) 歯科健診 10:00
幼児ブラッシング指導
- 15日(金) 眼科健診 14:30
- 19日(火) 耳鼻科健診
- 20日(水) だいちおでかけ
- 21日(木) ひかり懇談
子育て支援(すまいる)
- 28日(木) いぶき懇談
- 30日～7月1日 同園会